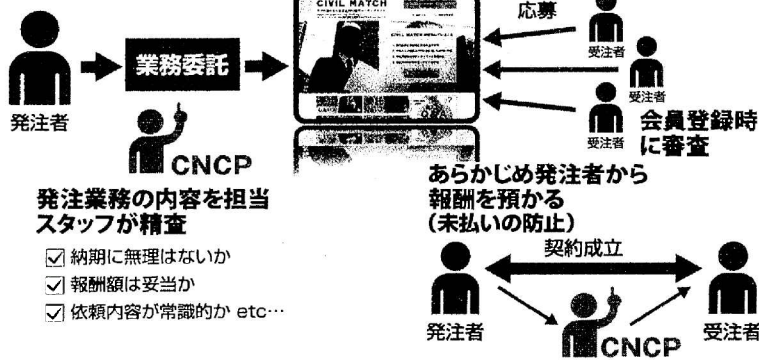


# マッチングサイト開設

建設関連業務  
**自治体・企業も利用可能**

シビル・マッチの仕組み



発注業務の内容を担当  
 スタッフが精査

- 納期に無理はないか
- 報酬額は妥当か
- 依頼内容が常識的か etc...

あらかじめ発注者から  
 報酬を預かる  
 (未払いの防止)

## CNC P 専門家集団登録で信頼性向上

土木学会が創立100周年記念事業の一環として創設した「シビルNPO連携プラットフォーム」(CNC P、山本卓朗代表理事)は17日、まちづくりや環境保全、防災・減災、インフラの維持更新など建設関連業務「調査・設計、工事など」の発注先を探すNPO法人や企業、地方自治体と、仕事を探す土木技術者、企業などを結び付けるインターネットの専用サイトを開設した。多数の土木専門家集団(NPO)が登録するCNC Pが運営することで受発注者間の契約や支払いの信頼性を担保する。

開設したのはCNC P マatchingサイト「シビル・マッチ」(http://civilmatch.org)。委託者と受注者をつなぐ国内初の建設系NPO専門のクラウドソーシングサービスとして立ち上げた。企業や自治体、土木技術者らの利用も可能で、女性やシニア技術者の活用も促す。

サイトの利用者はまず登録が必要。CNC P会員(76団体)とCNC P サポーターは登録が無料で、一般法人は1万円、一般個人は3000円を支払って登録する。登録時に法人、個人に対してはCNC Pが事前審査を行う。発注案件の登録は無料(複数登録可)だが、案件ごとにCNC Pのスタ

スタッフが適切な納期設定、報酬額の妥当性など依頼内容を精査する。登録された発注案件に対して、応募者と発注者間で条件交渉が終われば契約成立となり、未払い防止のためにCNC P

があらかじめ発注者から報酬(預託金)を預かる。報酬とともに、CNC Pはサイトの管理費に充てられ、発注者側から基本手数料として、取引額に対して100万円未満は10%、100万円以上は5%を徴収する。同サイトを利用する利点は、仕事を依頼する側は不足している技術者を迅速に探せること。多様な分野の専門技術者を雇うことができない企業も、必要な専門技術者を仕事に応じて雇用でき、受注の幅が広がる。信頼性の高い企業・NPO・個人の選択が容易になる。仕事を探している企業は、保有する技術力をアピールし、技術と経験を生かせる場を素早く探せるメリットがある。在宅で自由に案件を選べるほか、技術支援需要の動向も知ることができる。CNC Pは、社会貢献事業でのNPOとの協働を模索している企業の支援に役立つほか、施工計画書の作成や液状化の判定・支持力計算、補修・補強設計などでの企業同士の相互補完、技術者が不足する自治体の業務支援などの効果が期待できるとしている。